



令和4年12月16日
総合政策局情報政策課

「国土交通月例経済(令和4年12月号)」

国土交通省では、「国土交通月例経済(令和4年12月号)」を発表したのでお知らせいたします。

概況は、別紙のとおりです。なお、詳細につきましては、以下の URL よりご覧ください。

建設分野 https://www.mlit.go.jp/toukeijouhou/getsurei/r04/12/construction_menu.html

交通分野 https://www.mlit.go.jp/toukeijouhou/getsurei/transport/transport_menu.html

本件につきまして、ご質問やご要望等ございましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

国土交通月例経済は、建設分野や交通分野の統計をはじめ、事業者や関係団体が公表している様々なデータの中から、主要な項目をまとめて毎月公表しています。

問い合わせ先

総合政策局情報政策課 中村、野村

TEL:(03)5253-8111(内線:28414)

FAX:(03)5253-1567

総合政策局情報政策課建設経済統計調査室 宮田

TEL:(03)5253-8111(内線:28631)

FAX:(03)5253-1566

国土交通月例経済（令和4年12月号）概況

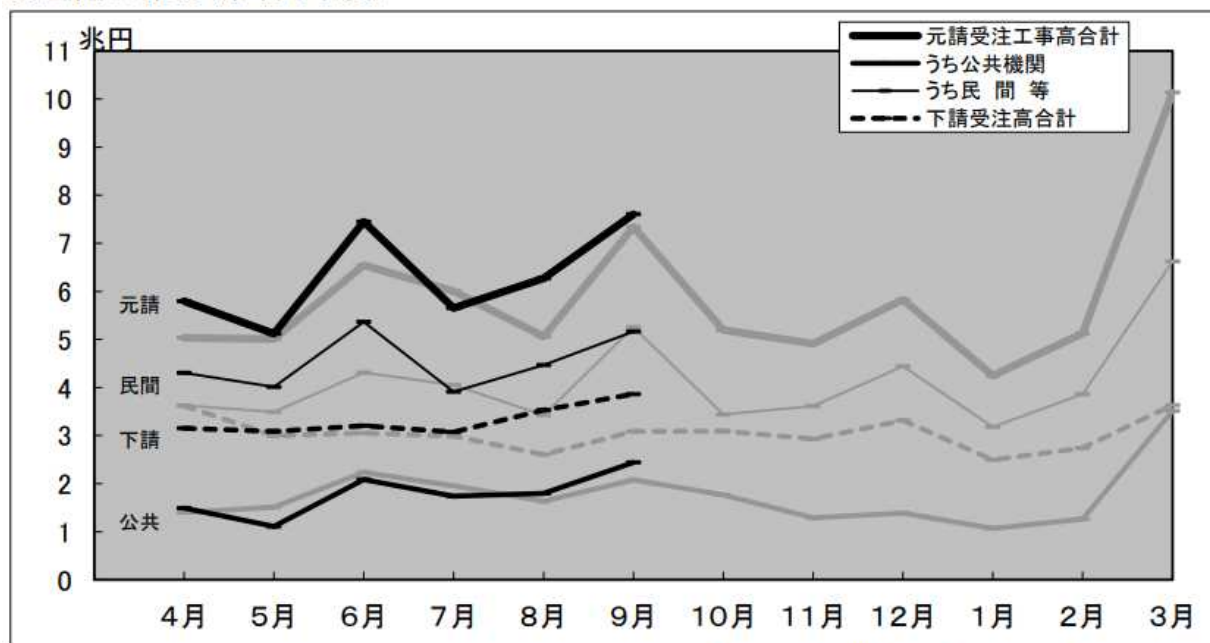
I 建設分野

1. 建設工事の受注高

9月の受注高は11兆4,661億円で、前年同月比10.0%増加した。うち元請受注高は7兆6,027億円で、同3.6%増加し、下請受注高は3兆8,634億円で、同25.3%増加した。

元請受注高のうち公共機関からの受注高は2兆4,414億円で、同17.3%増加し、民間等からの受注高は5兆1,613億円で、同1.8%減少した。

受注高の推移(令和4年度)



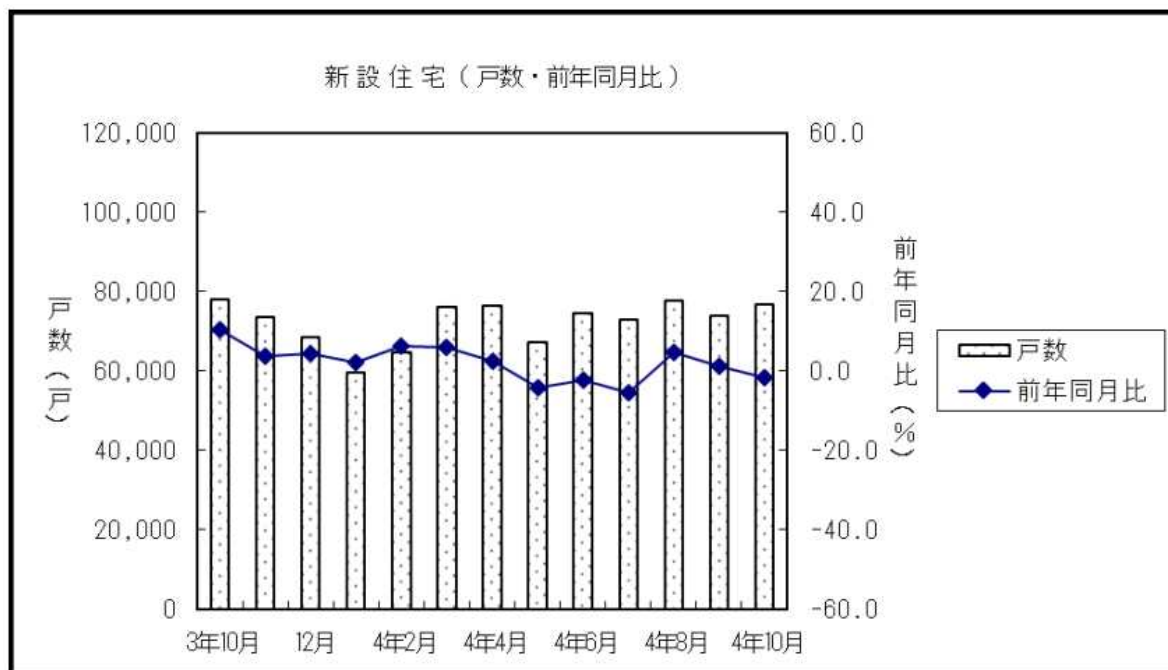
(グラフ中の淡色の線は、令和3年度の推移)

出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建設工事受注動態統計 記者発表資料」

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00600130&tstat=000001015811>

2. 住宅着工

10月の新設住宅着工は、貸家及び分譲住宅は増加したが、持家が減少したため、全体で前年同月比1.8%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比1.5%の増加となった。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建築着工統計 記者発表資料」

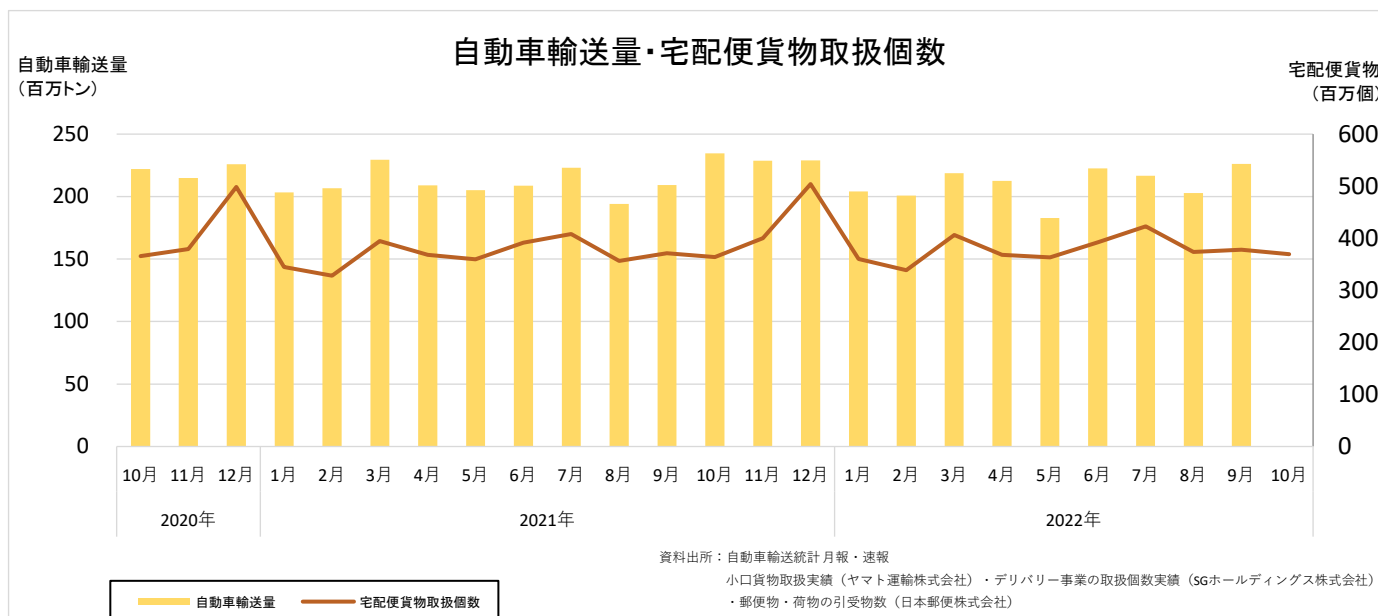
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search?page=1&toukei=00600120&kikan=00600>

Ⅱ 交通分野

1. 貨物輸送

(1) 自動車

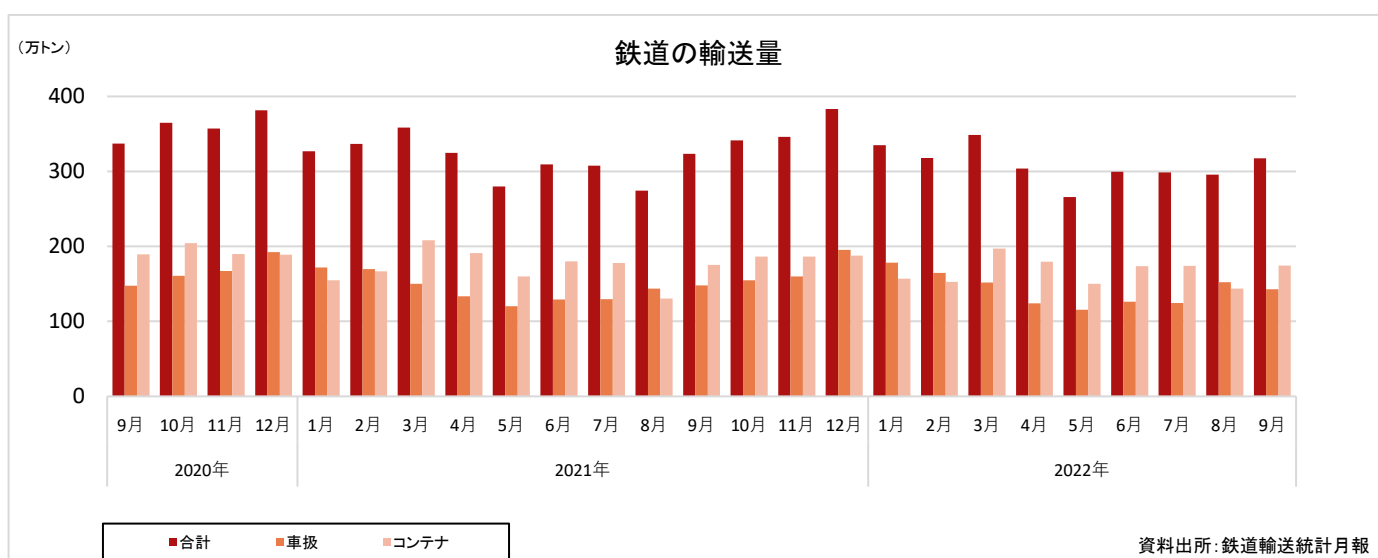
9月の自動車の輸送量は226百万トン（対前年同月比8.0%増加）、10月の宅配便貨物の取扱事業者（大手3社）による宅配便貨物取扱個数は369百万個（対前年同月比1.5%増加）となった。



(2) 鉄道

9月の鉄道の輸送量は317万トン（対前年同月比1.9%減少）となった。

そのうち、車扱は143万トン、コンテナは175万トンであった。

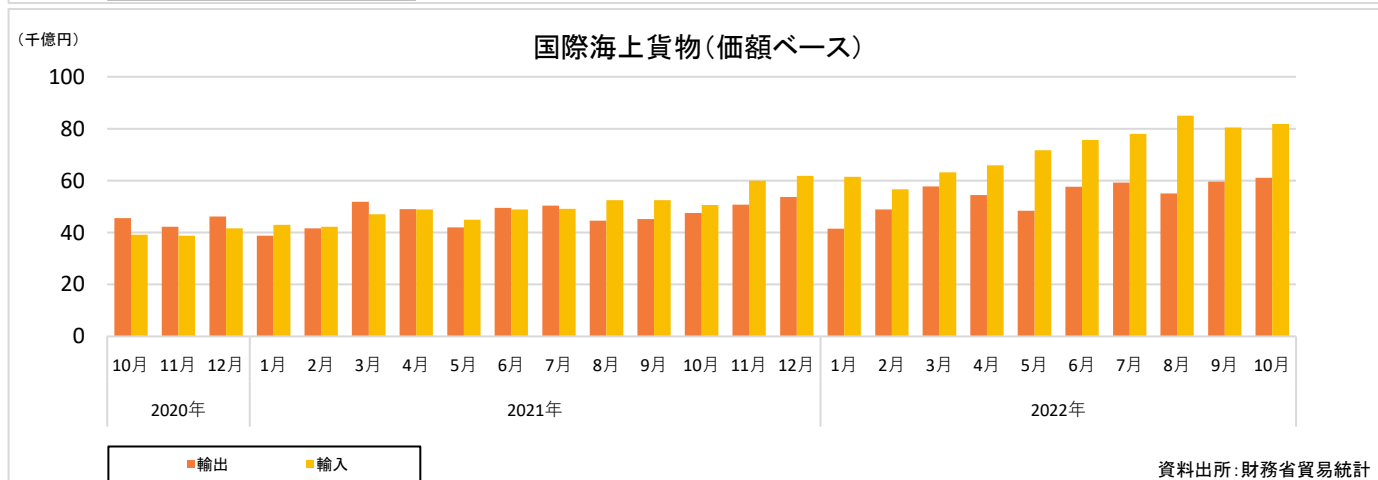
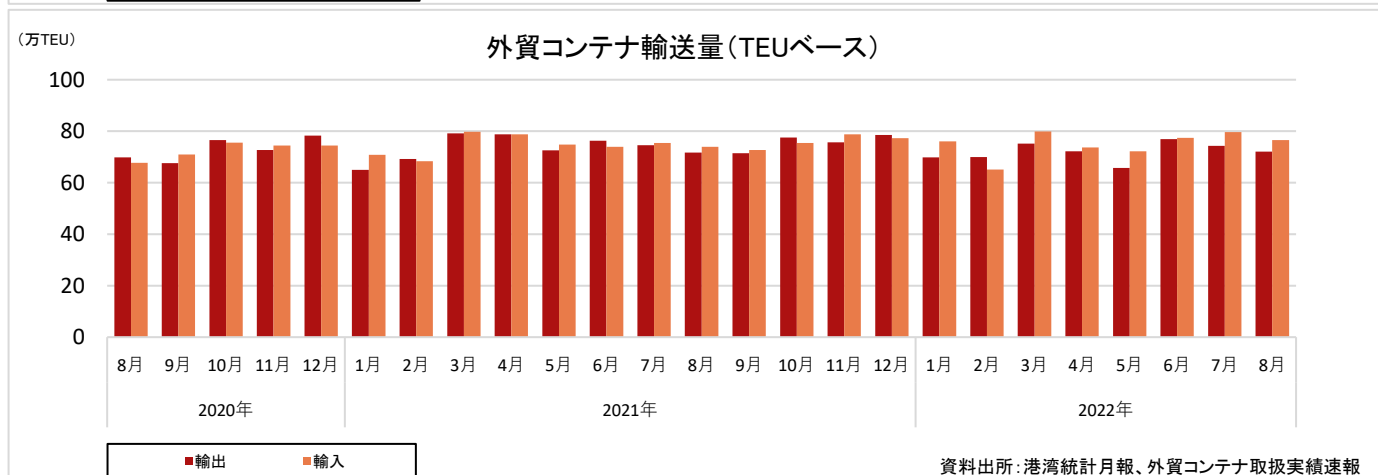
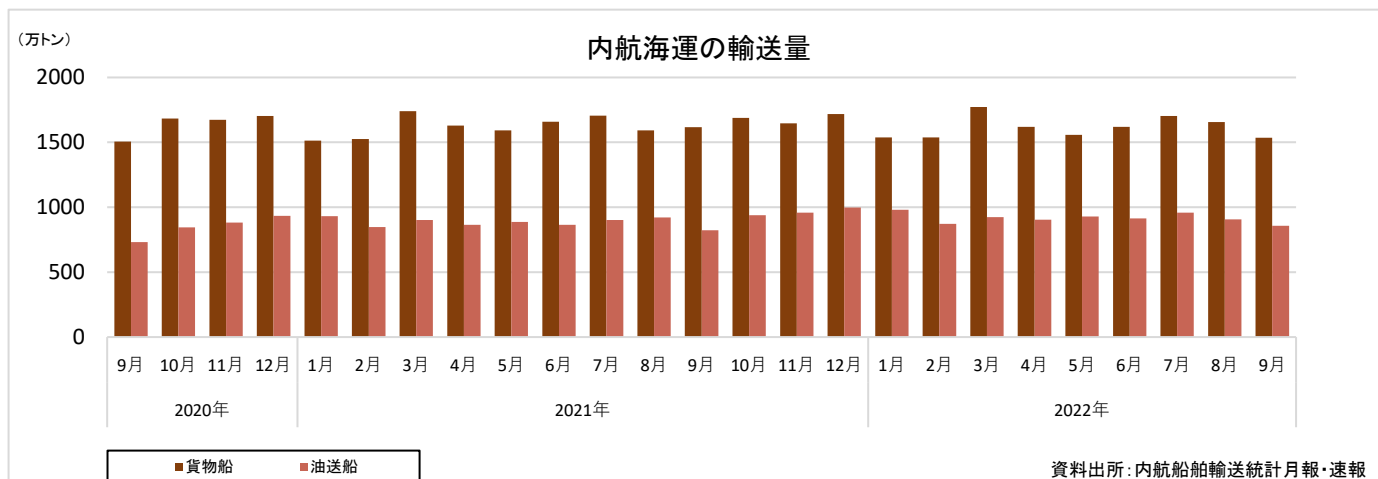


(3) 海運

9月の内航海運の輸送量は、貨物船1,536万トン（対前年同月比5.0%減少）、油送船858万トン（対前年同月比4.1%増加）となった。

8月の外航海運（外貿コンテナ）の輸送量は、輸出72万TEU（対前年同月比4.7%増加）、輸入77万TEU（対前年同月比1.4%増加）となった。

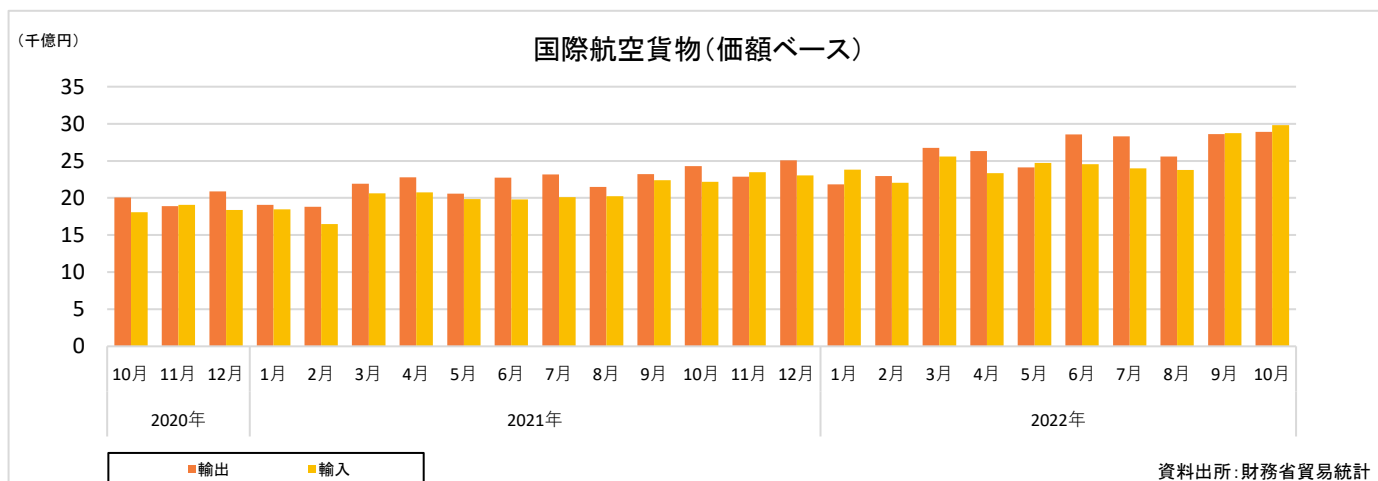
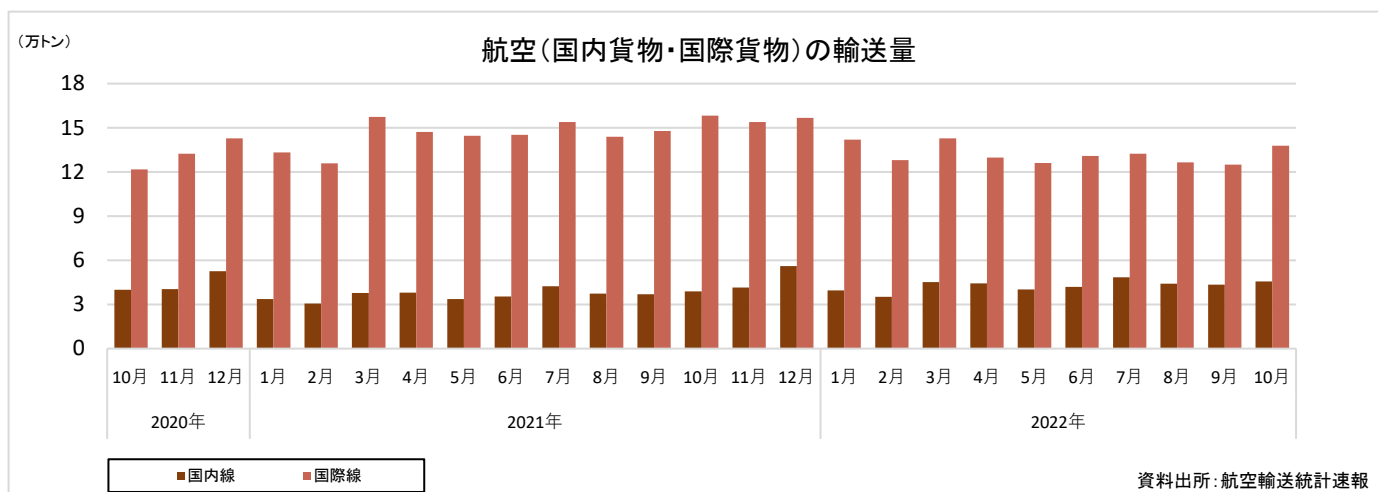
10月の国際海上貨物（価額ベース）は、輸出6.1兆円（対前年同月比28.6%増加）、輸入8.2兆円（対前年同月比61.9%増加）となった。



(4) 航空

10月の航空の輸送量は、国内線 46 千トン（対前年同月比 17.3%増加）、国際線 138 千トン（対前年同月比 18.5%減少）となった。

10月の国際航空貨物（価額ベース）は、輸出 2.9 兆円（対前年同月比 19.0%増加）、輸入 3.0 兆円（対前年同月比 34.6%増加）となった。

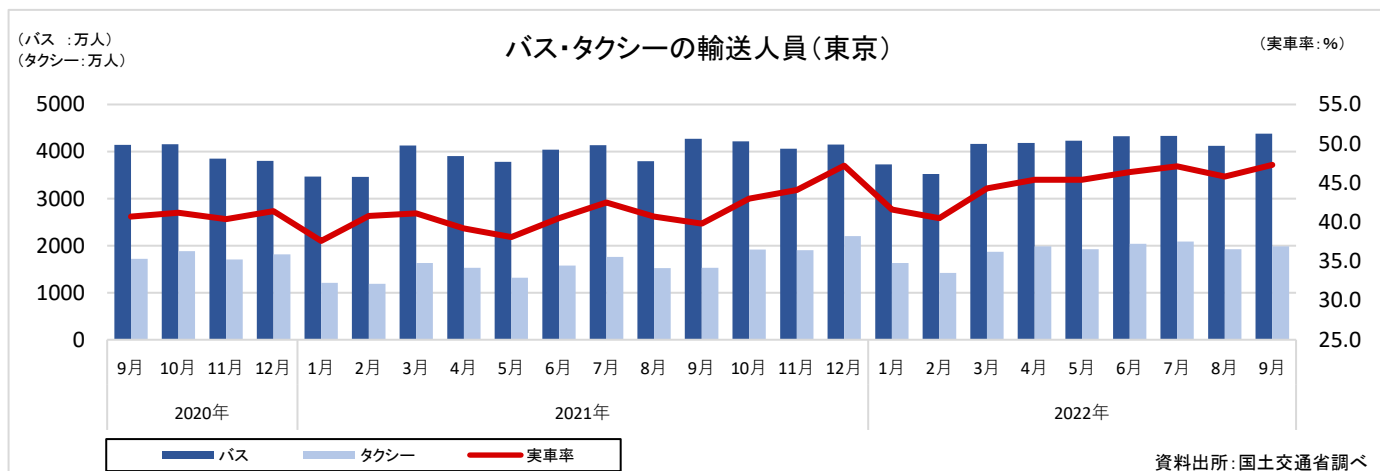
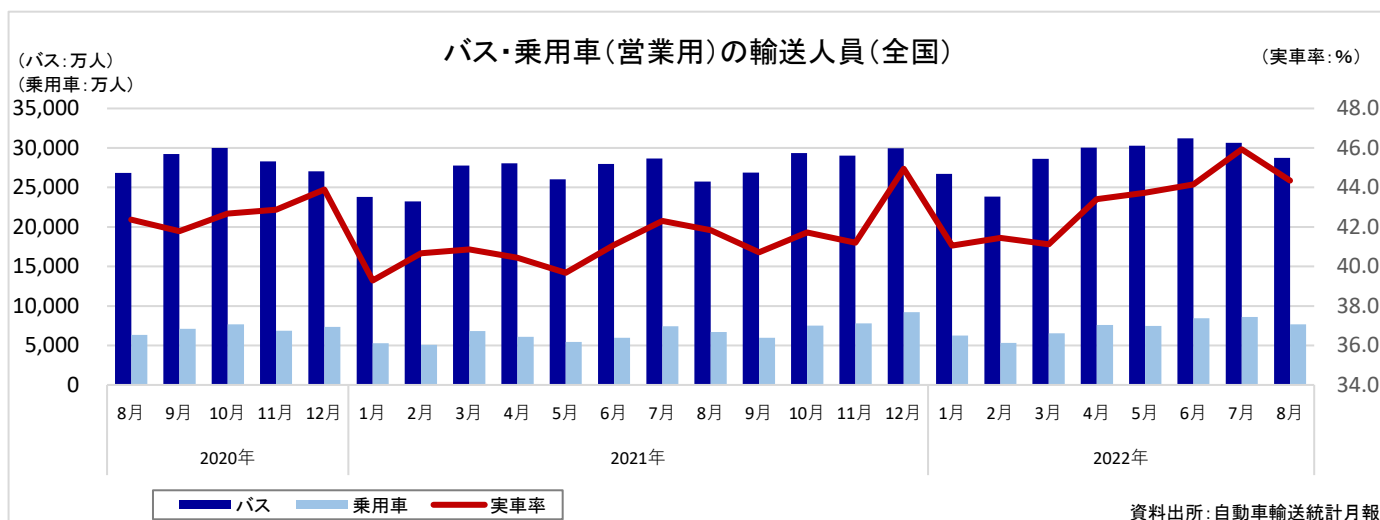


2. 旅客輸送

(1) バス・タクシー

8月のバス(全国の乗車定員11名以上の乗合バス)の輸送人員は28,745万人(対前年同月比11.6%増加)、乗用車(全国の乗車定員10名以下の営業用乗用車)の輸送人員は7,664万人(対前年同月比14.6%増加)、実車率は44.3%となった。

9月のバス(東京均一制区間を運行する乗合事業者(10社))の輸送人員は4,381万人(対前年同月比2.5%増加)、9月のタクシー(東京都(島しょを除く)の全社)の輸送人員は1,983万人(対前年同月比29.5%増加)、実車率は47.3%となった。



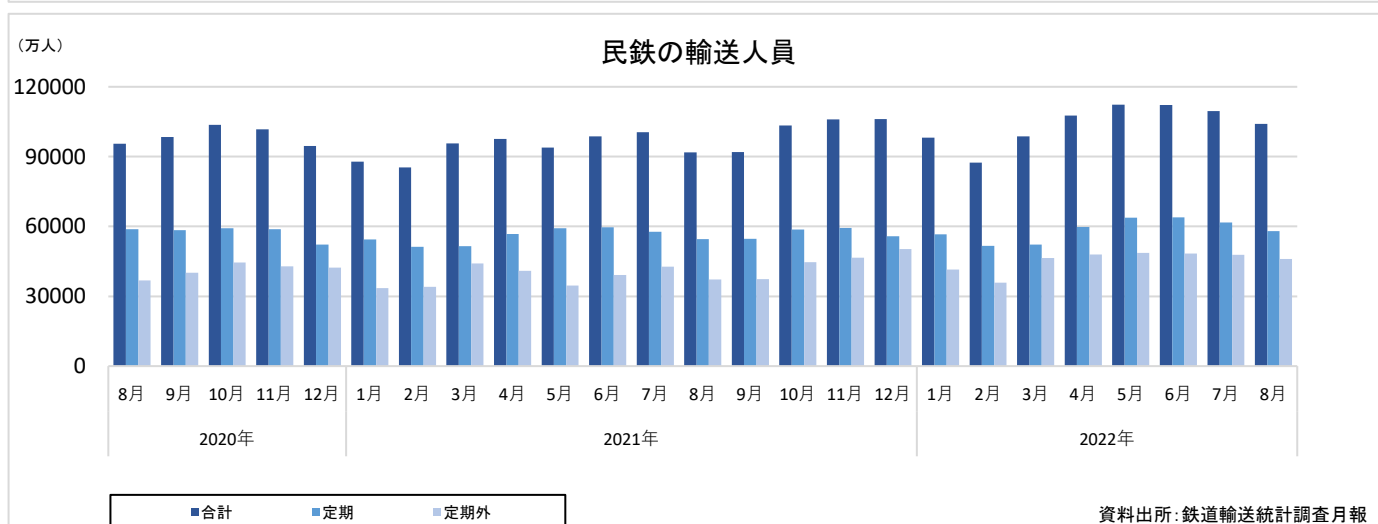
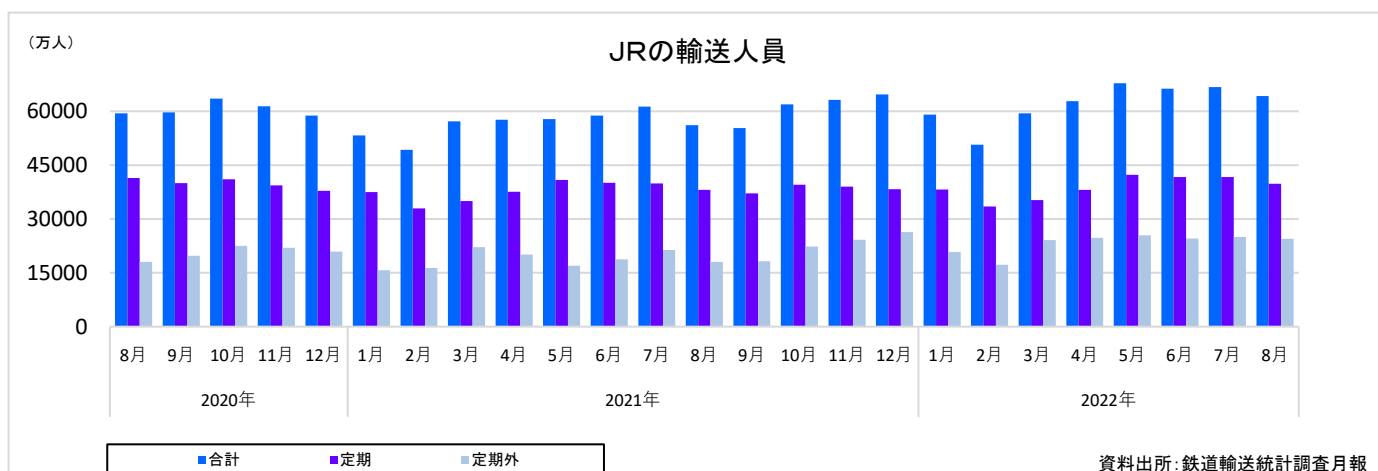
(2) 鉄道

8月のJRの輸送人員は64,244万人（対前年同月比14.4%増加）となった。

そのうち、定期は39,782万人、定期外は24,461万人であった。

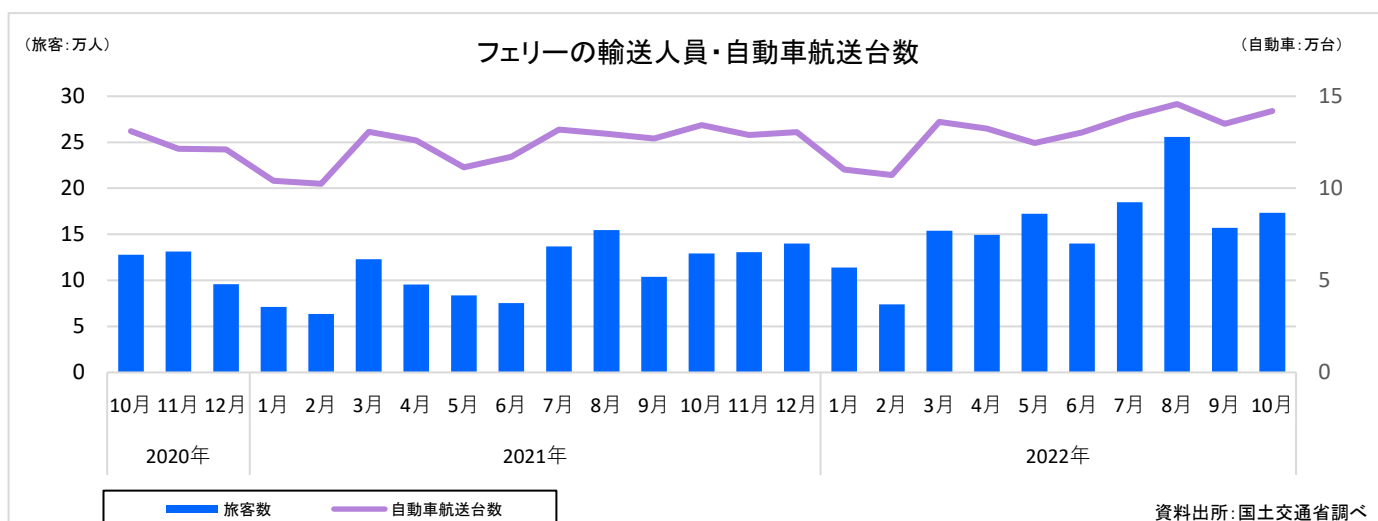
8月の民鉄の輸送人員は104,069万人（対前年同月比13.3%増加）となった。

そのうち、定期は58,017万人、定期外は46,052万人であった。



(3) フェリー

10月の長距離フェリーの輸送人員は17万人（対前年同月比34.1%増加）、自動車航送台数は14万台（対前年同月比5.7%増加）となった。

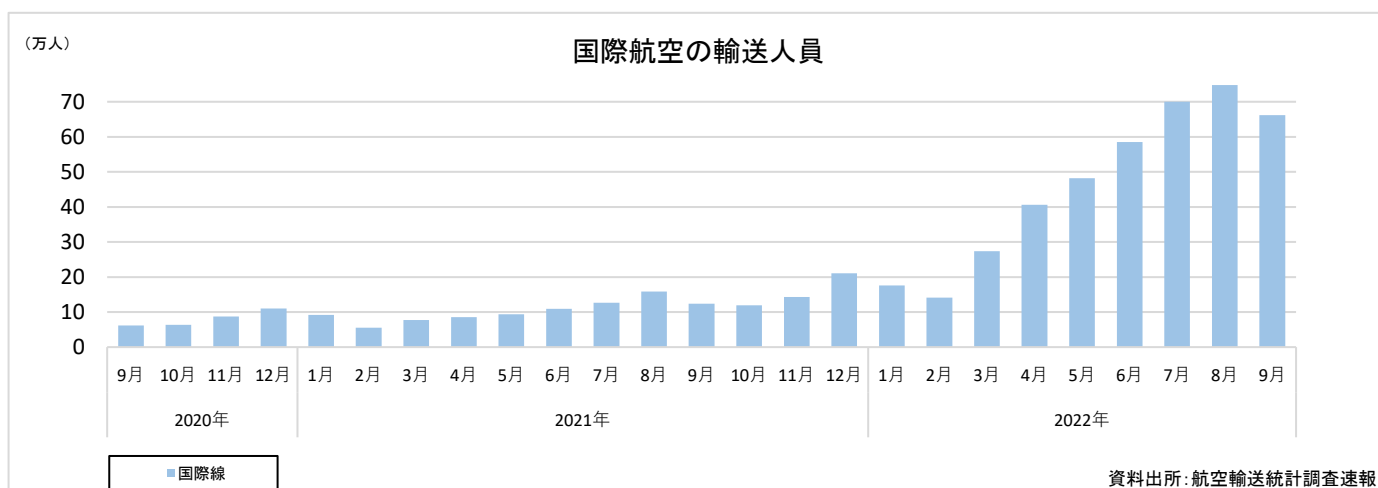
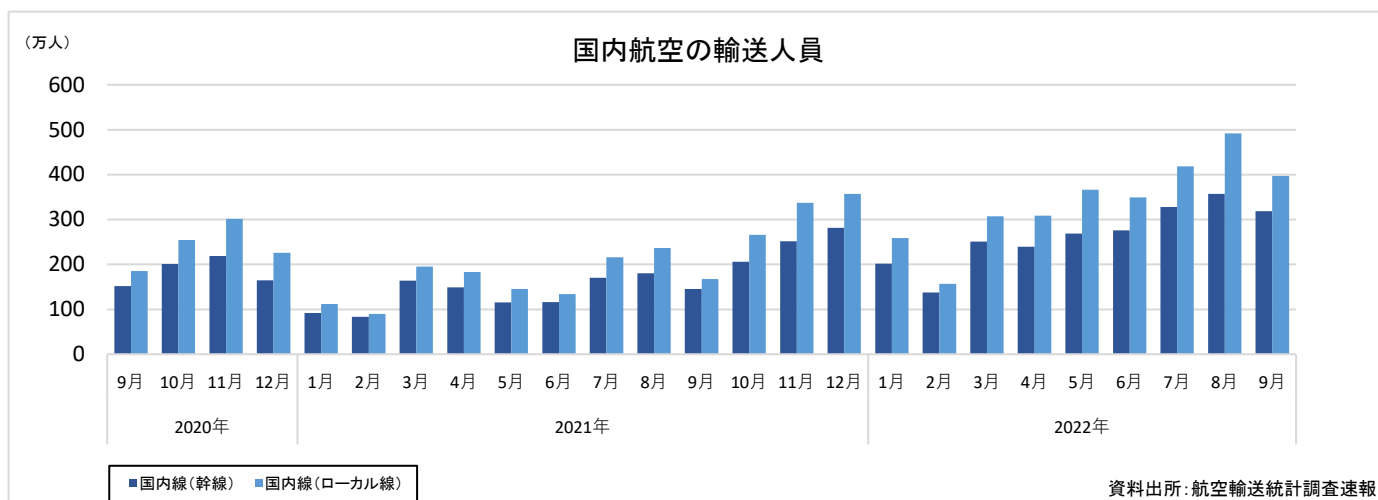


(4) 航空

9月の国内線の輸送人員は716万人（対前年同月比129.0%増加）となった。

そのうち、幹線は319万人、ローカル線は397万人であった。

9月の国際線の輸送人員は66万人（対前年同月比434.7%増加）となった。



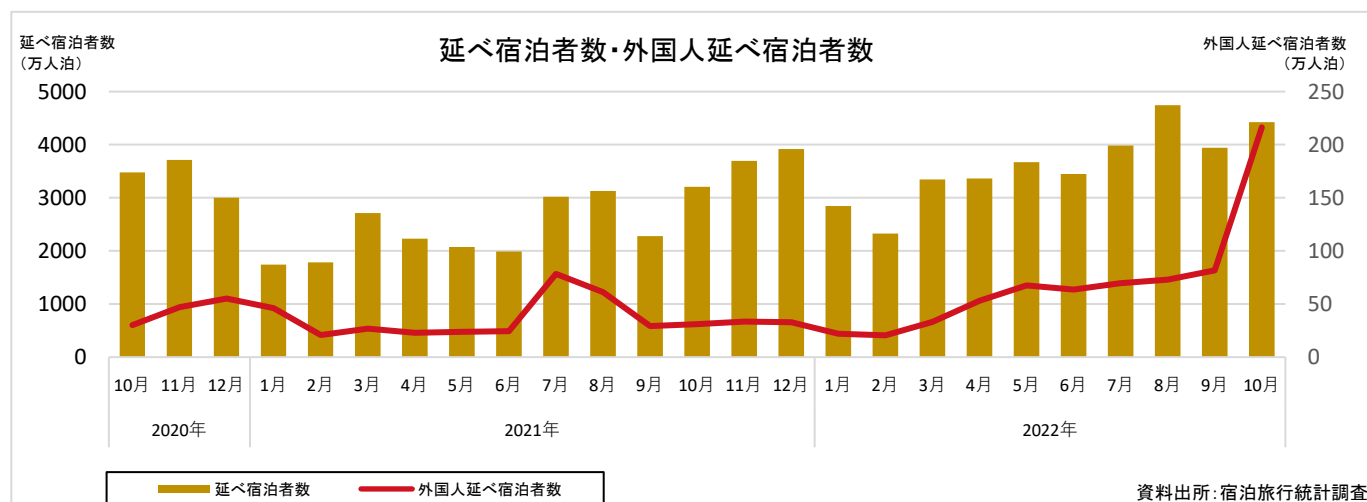
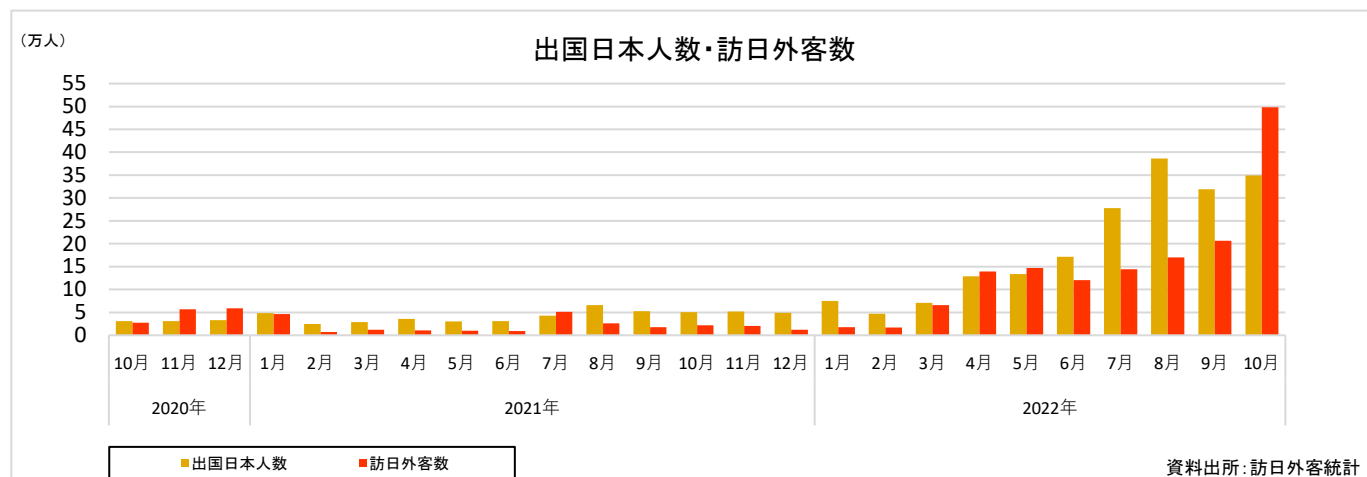
3. 観光分野

(1) 出国日本人数、訪日外客数、宿泊者数

10月の出国日本人数は35万人(対前年同月比587.6%増加)、訪日外客数は50万人(対前年同月比2,154.8%増加)となった。

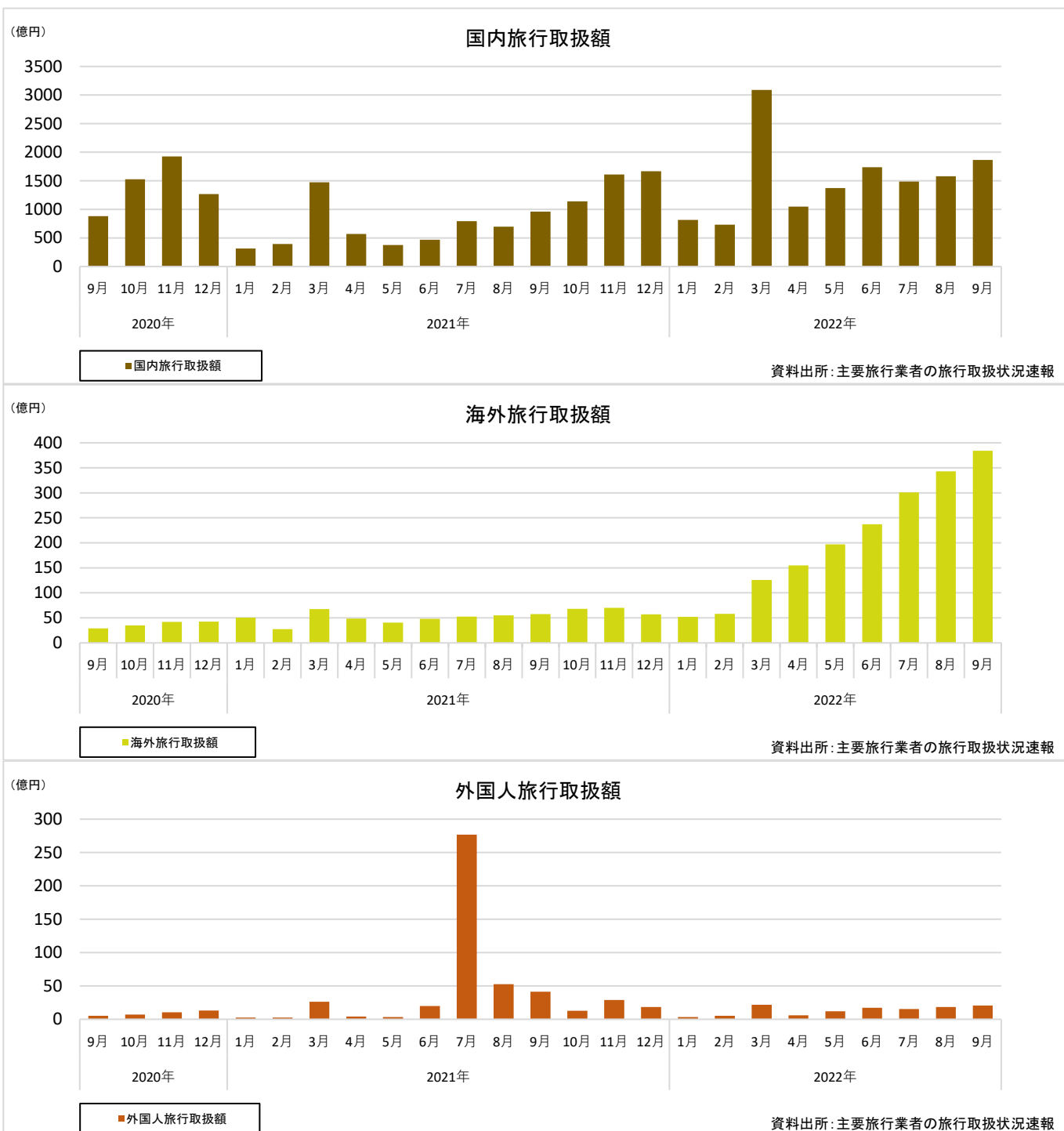
10月の延べ宿泊者数は4,426万人泊(対前年同月比38.0%増加)となった。

そのうち、外国人延べ宿泊者数は216万人泊(外国人シェア4.9%)であった。



(2) 主要旅行業者の旅行取扱状況

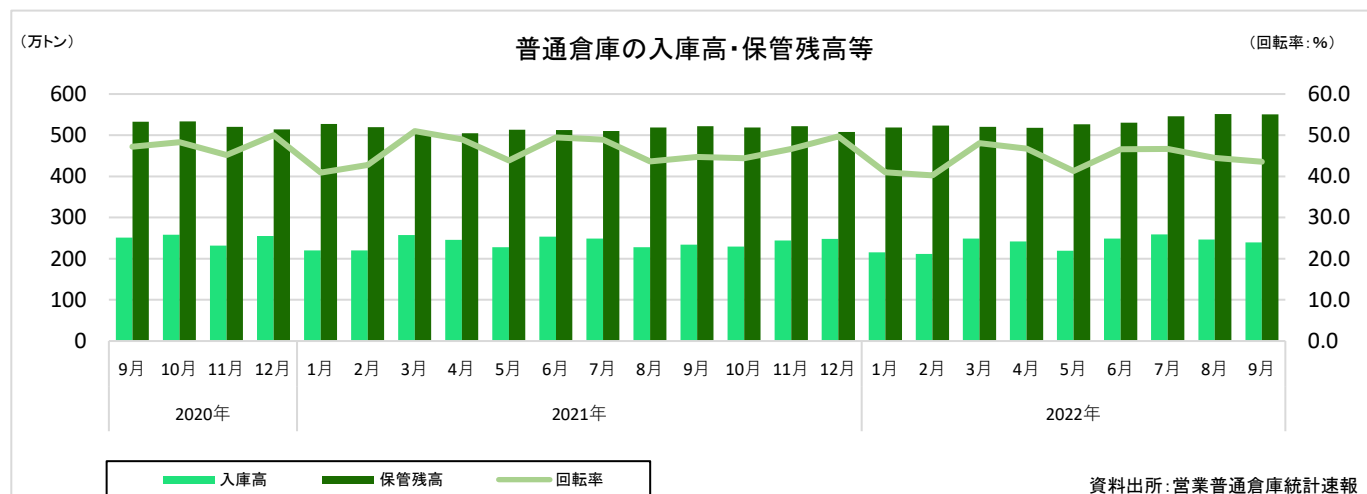
9月の主要旅行業者（45社）の取扱額は、国内旅行1,865億円（対前年同月比94.2%増加）、海外旅行384億円（対前年同月比569.1%増加）、外国人旅行取扱額21億円（対前年同月比49.9%減少）となった。



4. その他

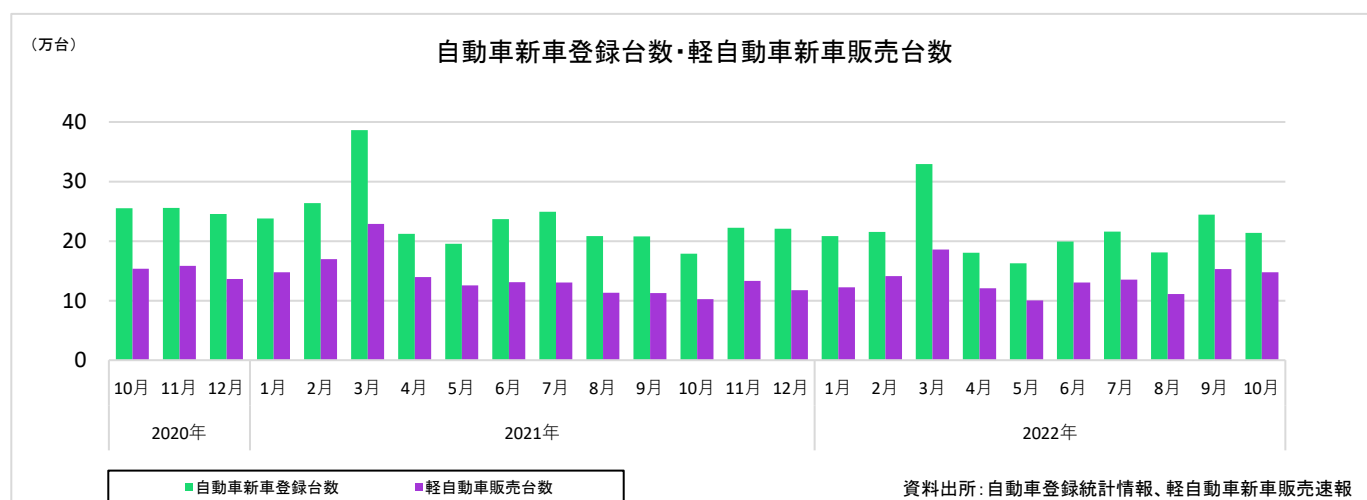
(1) 倉庫

9月の普通倉庫の入庫高は240万トン（対前年同月比2.3%増加）、保管残高は551万トン（対前年同月5.6%増加）、回転率43.5%となった。



(2) 自動車新車登録台数、軽自動車販売台数

10月の自動車新車登録台数は21万台（うち貨物車登録台数2万台、旅客車登録台数19万台）となった。
10月の軽自動車販売台数は15万台となった。



(3) 自動車保有車両数

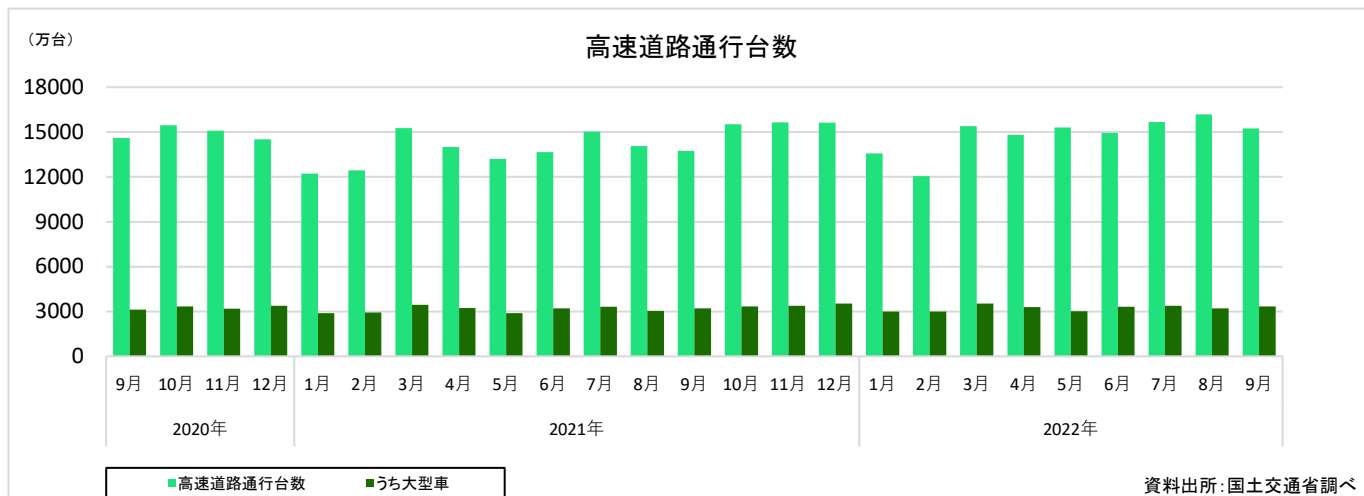
9月の自動車保有車両数は8,261万台となった。

(4) 高速道路通行台数

9月の高速道路通行台数は15,252万台（対前年同月比11.0%増加）となった。

そのうち、大型車通行台数は3,346万台であった。

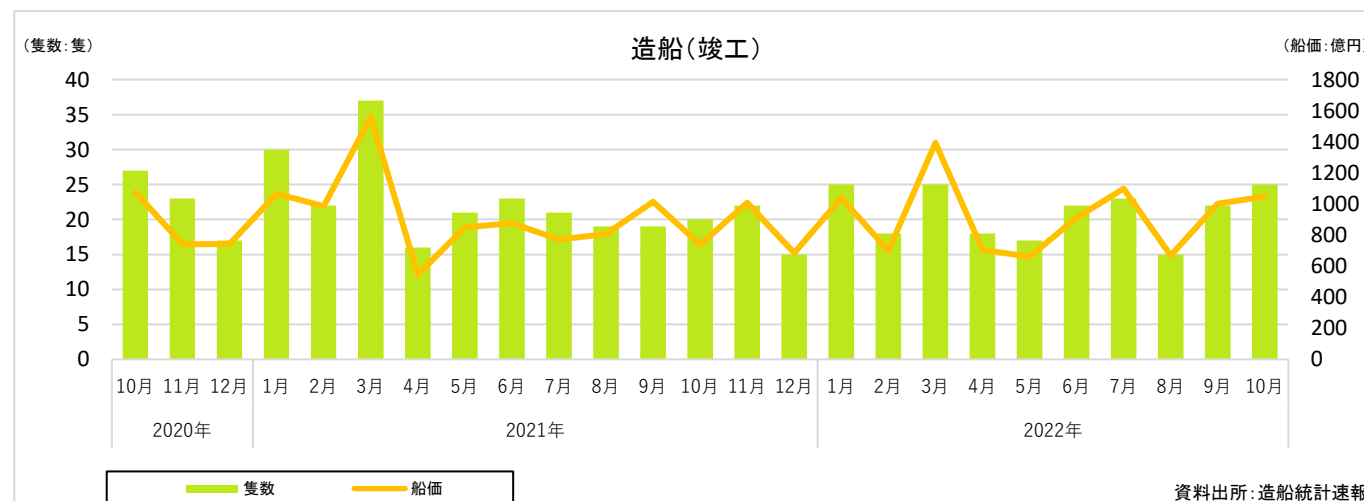
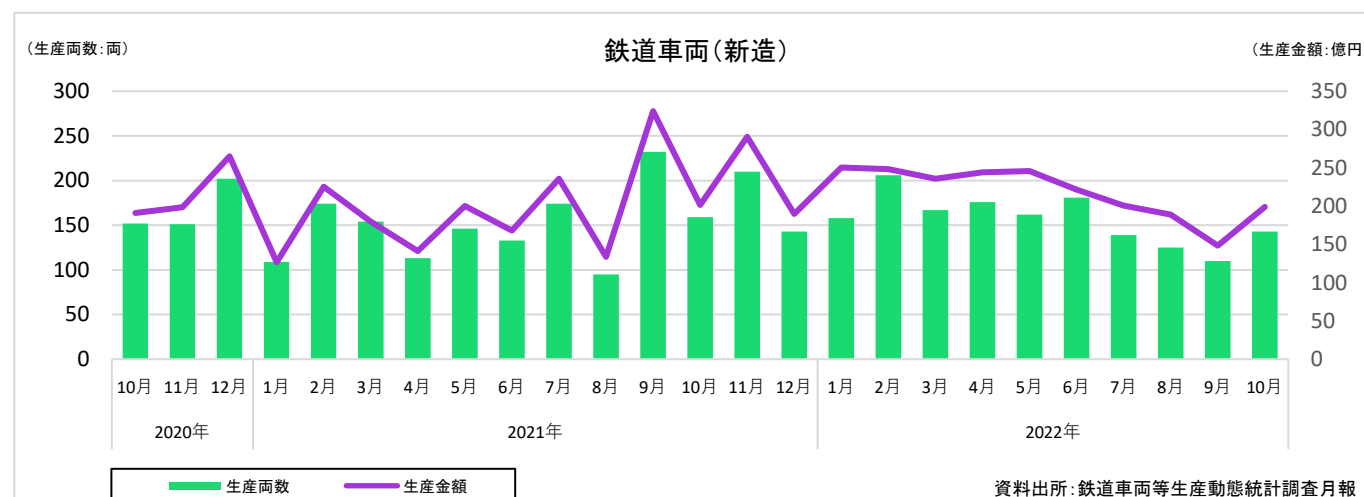
また、東名高速道路通行台数は1,240万台であった。



(5) 鉄道車両、造船

10月の鉄道車両（新造）の生産両数及び生産金額は143両、199億円となった。

10月の造船（竣工）の隻数、トン数及び船価は25隻、885,568G/T、1,047億円となった。

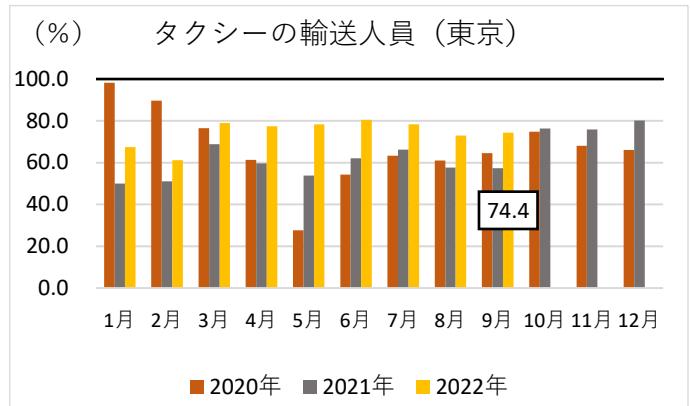
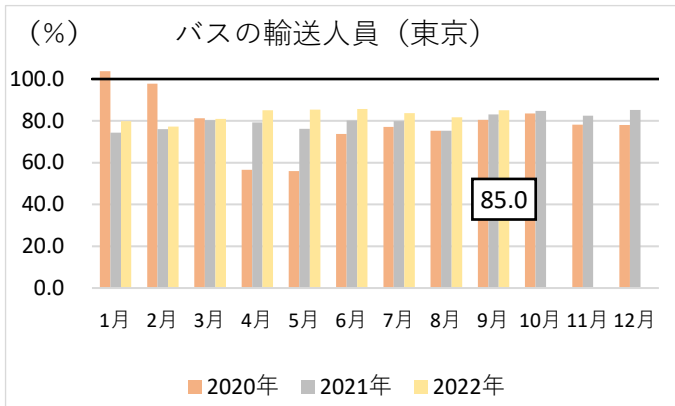


(参考) 旅客輸送の対 2019 年同月比について

(1) バス・タクシー

9 月のバス（東京均一制区間を運行する乗合事業者（10 社））の対 2019 年同月比は 85.0%となった。

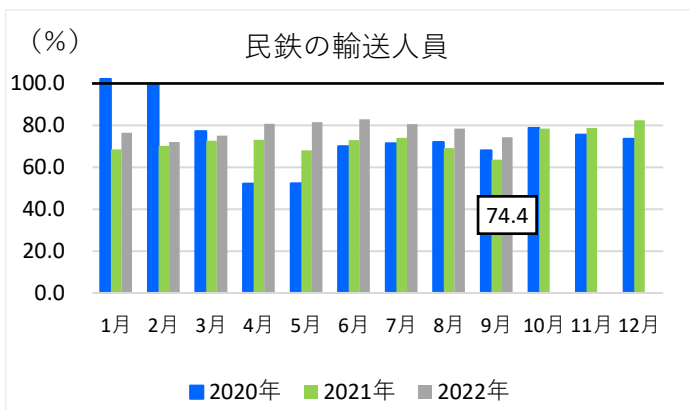
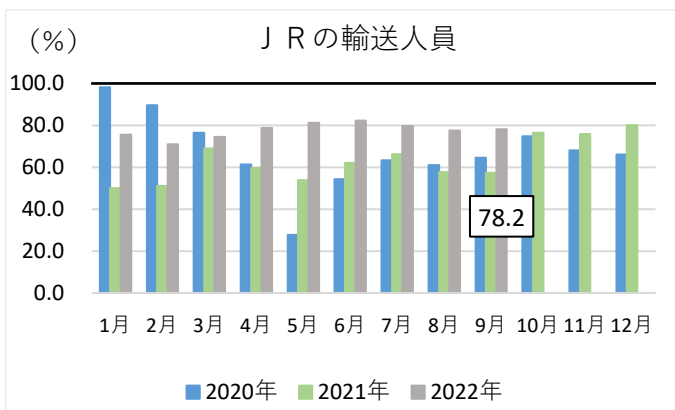
9 月のタクシー（東京都（島しょを除く）の全社）の対 2019 年同月比は 74.4%となった。



(2) 鉄道

9 月の J R の対 2019 年同月比は 78.2%となった。

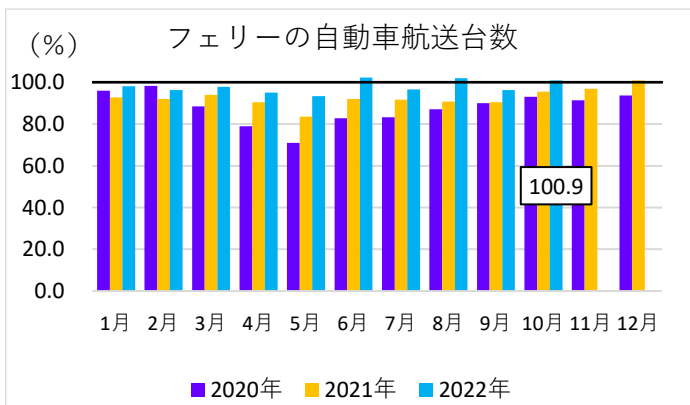
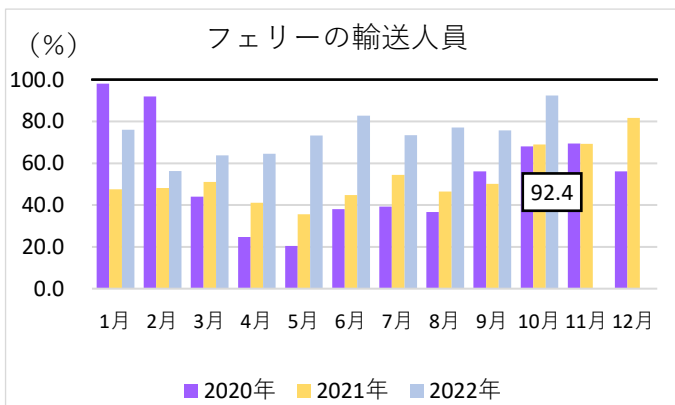
9 月の民鉄の対 2019 年同月比は 74.4%となった。



(3) フェリー

10 月の長距離フェリーの対 2019 年同月比は 92.4%となった。

10 月の自動車航送台数の対 2019 年同月比は 100.9%となった。



(4) 航空

10月の国内線の対2019年同月比は91.8%となった。

10月の国際線の対2019年同月比は44.1%となった。

